

◆民間企業・公的研究機関・行政等の皆様へ◆ 学生の受け入れについて

本学における長期インターンシップの取組の趣旨をご理解いただき、ぜひ学生の受け入れにご協力ください。

受け入れにあたっての手續

学生の受け入れにあたっては、企業・団体の皆さまと大学の間で、受け入れにあたっての基本的事項を定めた協定・覚書等を締結させていただきます。

履歴書の提出

派遣学生については個別に調整させていただきますが、候補となる学生の履歴書を企業・団体の皆さまに提出しますので、選考にあたっての参考としてください。

保険の加入

派遣学生には「学生教育研究災害傷害保険」「学研災付帯賠償責任保険」またはこれらと同等の保険への加入を義務付けています。

誓約書の提出

派遣が決定した学生には、企業・団体あての誓約書を提出させます。内容は、長期インターンシップ期間中に知り得た内部情報及び個人情報を他に漏らさないことや、派遣先の企業・団体のルールに従うことなどです。誓約書の様式は本学で定めていますが、企業・団体の様式を使用される場合は、事前にご相談ください。

学生情報の取扱いについて

学生の個人情報について、インターンシップ以外の目的で使用したり、第三者に提供することがないようご留意願います。

〈お問い合わせ〉 国立大学法人三重大学 ※土・日・祝日および夏季休業・年末年始は閉室しています。

工学部・工学研究科 事務室 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577
TEL:059-231-9469 FAX:059-231-9471 E-mail:eng-gakumu@eng.mie-u.ac.jp
https://www.eng.mie-u.ac.jp/

キャリアセンター TEL:059-231-9810 FAX:059-231-5374 E-mail:internship@ab.mie-u.ac.jp
(学務部 キャリア支援チーム) https://www.mie-u.ac.jp/life/career/



国立大学法人三重大学

工学部・工学研究科

長期インターンシップの取組

三重大学工学部・工学研究科では、「学部修士一貫コース」創設に伴い長期インターンシップの取組を開始します。

三重大学工学部・工学研究科では、「学部修士一貫コース」の創設に伴い、2022年度から同コース生による長期インターンシップの取組を開始します。

長期インターンシップは、民間企業・公的研究機関・行政等の皆様のご協力のもと、学部修士一貫コース生(4年生)が特定の研究課題に長期間取り組むものであり、卒業研究の代わりとなるものです。

「学部修士一貫コース」とは

学部・修士一貫コースとは、学部と博士前期課程が連携して設ける教育プログラムであり、大学院博士前期課程を経て専門研究者や専門職を目指す意欲と能力のある学生を早期に選抜し、学部と大学院博士前期課程の両課程を貫いて育成することを目的としています。

「教育的インターンシップ」の取組

三重大学が進めるインターンシップは、「教育的インターンシップ」と称し、大学教育の一環として取り込まれるもので、大学での学修と社会組織での実習・経験を結び付けることで、学生の学修を深化させ、新たな学習の意欲を喚起させるとともに、学生に自己の職業適性や将来設計について考える機会を提供するものです。

この考えのもと、2019年度の入学生からインターンシップを卒業要件としました(インターンシップの卒業要件化)。インターンシップの取組自体は教育の質保証の重要な要素であり、三重大学および各学部・学科が掲げるディプロマ・ポリシーに沿った教育実践の一環として活用されるものであり、全ての学生が何らかの形で参加します。

◆長期インターンシップの基本的枠組み◆

位置づけ

学部・修士一貫コース生は、4年次に「卒業研究」もしくは「長期インターンシップ」のいずれかの科目を選択して履修します。「長期インターンシップ」は、卒業研究と同レベルの重要な科目として位置づけられています。

期待される効果

学んだ専門知識を実社会で有効に活用できる人材の育成

企業等における長期間の就業体験により問題発見・解決力、課題探求力、先端技術を取り込む力を育成します。

地域産業への継続した人材輩出/地域企業との共同研究件数の増加

長期インターンシップの研修先として地域企業等をラインナップし、研修先における実習を通じて企業等が保有する技術の習得および実践的研究を行うことにより、学生と地域企業等の結び付きを強くします。

実施期間

実施期間は、合計**30日**以上、かつ**270時間**以上を満たす必要があります。
 (参考:9時間(研修8時間+日報作成1時間)/日×30日=270時間)
 1週間の実施日数など具体的には派遣先の企業・団体関係者、大学指導教員、参加学生の間で協議して決定します。
 なお、研修期間は前半と後半に分け、その間に「中間成果報告会」を実施することとしています。

内容

研修内容は、派遣先の企業・団体関係者、大学指導教員、参加学生の間で協議して決定します。

評価

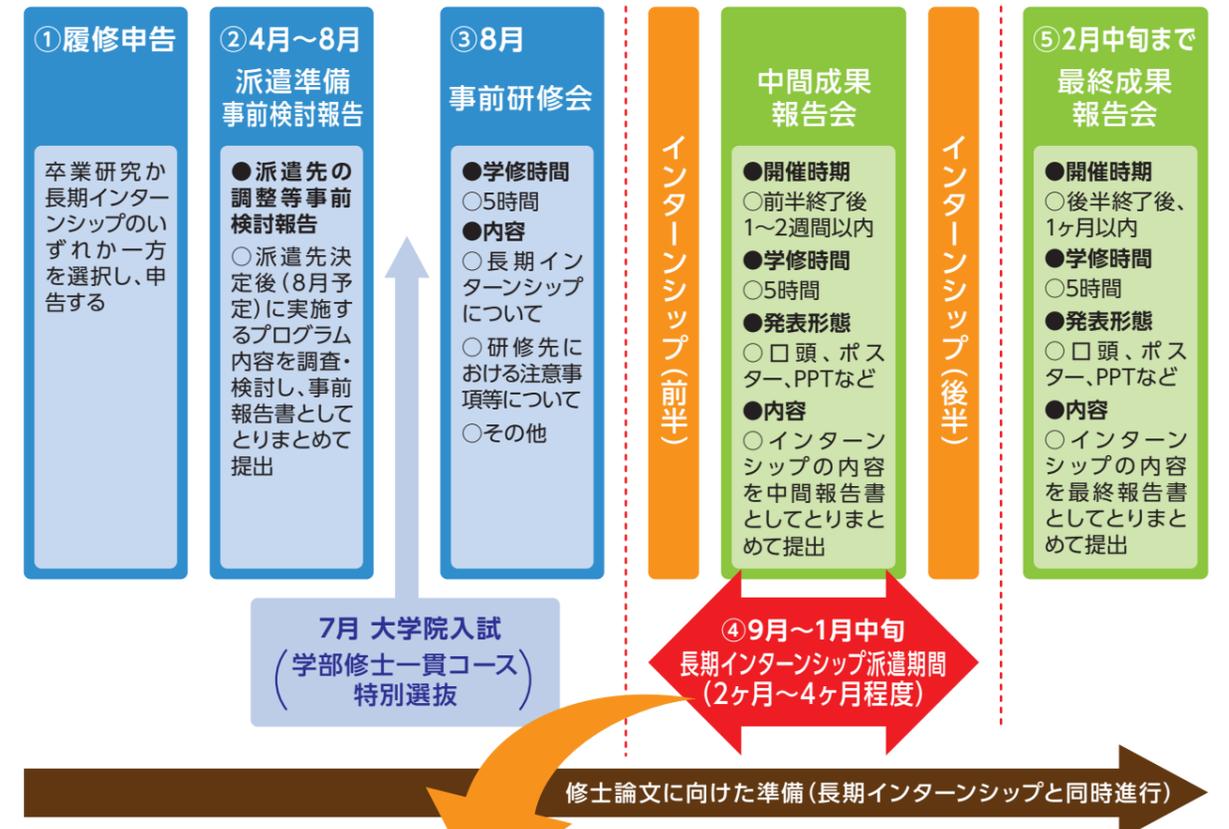
成績評価は、卒業研究と同様に大学研究室の指導教員が以下の項目を総合的に勘案して行います。

- 事前学習
- 研修日報
- 中間成果報告会
- 最終成果報告会・最終成果報告書

◆全体スケジュール◆

長期インターンシップの主なスケジュールは次のとおりです。

- ①派遣先の調整等準備・事前検討報告(4月~8月)
- ②事前研修会(8月)
- ③インターンシップ前半+中間成果報告会+インターンシップ後半(9月~1月中旬)
- ④最終成果報告会(インターンシップ終了後~2月中旬)



【派遣期間の基本パターン】

- ◆週5日の場合:合計2ヶ月(7~8週間)
前半(3週間)+中間成果報告会(1~2週間)+後半(3週間)
(5日/週×9時間×6週間=270時間)
- ◆週4日の場合:合計2ヶ月半(9~10週間)
前半(3~4週間)+中間成果報告会(1~2週間)+後半(3~4週間)
(4日/週×9時間×7.5週間=270時間)
- ◆週3日の場合:合計3ヶ月(11~12週間)
前半(5週間)+中間成果報告会(1~2週間)+後半(5週間)
(3日/週×9時間×10週間=270時間)
- ◆週2日の場合:合計4ヶ月(16~17週間)
前半(7~8週間)+中間成果報告会(1~2週間)+後半(7~8週間)
(2日/週×9時間×15週間=270時間)

※これら以外のスケジュールも可能です。具体的には派遣先の企業・団体関係者、大学指導教員、参加学生の間で協議して決定します。

